

粕谷和夫の観察。鎌倉の西側、笹田の閑静な住宅地にある「仏行寺」という小さなお寺。大船駅から湘南モノレール湘南深沢駅まで行き、ここから歩いて行った。笹田川沿いの道は畑や緑地が多く、のどかな雰囲気です。茅葺屋根の農家も1軒あった。有名な観光名所から外れているため、訪れる人も多くなく、躑躅で有名な庭園は花が見頃だった。

紅葉台



新聞

第134号

2024年

6月15日

発行人：関谷 孝

ベトナムから来たビー (Vi) さん

日本語の会で国際交流しませんか

国際交流協会が八王子北口駅前のオクトーレ 11 階にあることは以前この新聞にて紹介しました。その中でも外国人の人たちに日本語を教える民間団体がいくつかあり



ます。その一つに「日本語の会」があります。この近くでは、東浅川健康福祉センター（日曜日午前 9 時 30 分から 11 時 30 分）、八王子教室、南大沢、柚木中央などでも曜日は違いますが、活動しています。私事ですが、5 年ほど前にボランティアとして活動を始めました。4 年半前にベトナムから来た技能実習生のビーさんと出会い担当になりました。当時 22 歳で八王子の M 会社で洋服の縫製をする仕事をしていました。この会社は、ベトナムから 20 人ほどの女性を雇っていて、会社で寮生活をしています。社長さんは女性で時々会食会をしたり、地域の夏祭りに参加して出店をしたりして地域の人たちとも交流をしています。病気になれば病院に連れて行ってもくれるので安心と話していました。ベトナムにも同じ会社があるので長年ベトナムの人たちとのつながりがあります。このような会社は珍しいかもしれません。他の生徒さんたちは、特に男性は肉体労働が多く、建築や塗装などきつい仕事をしている人が多いです。技能習得とはいいながら、きつくて大変な労働環境にあります。月から土曜日まで働いて、（1日8時間以上の長時間労働が多いです）休みの日曜日に日本語の勉強をしに来ることはいかに大変なことかと想像できます。

日本語検定が年 2 回あり、N1 から N5 までの検定の中で N3 に合格することを目標にしています。そのくらいの資格があると会社での待遇も良くなるので勉強を頑張っています。（N1 が一番難しい。日本人でも難しいです）



私達ボランティアは、そんな事情も知って少しでもお手伝いをしたいと考えています。それ以上に日本に来て良かったと思えるような経験をしてほしいと願っています。私たちにとっても民間の国際交流になっています。私も娘が出来たような気分です。仕事や生活面での困りごとの相談や日本の文化やベトナムでの家族や仕事のことなどたくさんを教えてもらいました。特に素晴らしいと思うのは、若くて元気で真面目に頑張る姿はこちらが学ぶことが多いです。ビーさんはアイロンがけの仕事をして 4 年間担当しました。重い鉄のアイロンをもって腕が痛くなることもありましたが頑張りました。自分の食事も毎日作ります。時々ベトナムの料理を作ってきて

くれることもありました。空き地を耕して野菜をつくって家計を助けていました。何でも自分でする習慣がありそれは遅いです。また、日本に来るために斡旋業者に多額の借金をしてきます。その返済やベトナムに住む家族に給料のほとんどを送金しています。

ビーさんは N4 の資格を取り、スピーチ大会に出場してみんなの前で「野菜作りから学んだこと」と題して日本語で堂々と発表しました。そのことで自信がついたように思います。日本に来た時には小さな声でした。また、人前で話すことが苦手だったのですが、今では日本語でのコミュニケーションが上手になりました。4 年間働いて、ベトナムに帰ったら、料理学校に通って自分のお店を持つのが目標と話していました。技能実習とはいってもそれが将来の夢に直接結びつかないのも現実です。でもその頑張りがいつか力になって幸せになってほしいと思っています。お別れするのは寂しいですが、ビーさんの幸せを心から願っています。



また、日本語の会では年に 2 回の遠足や、お花見会などの楽しい行事があります。（かつてはそれぞれの国の料理を持ち寄っての新年会などもあったようです）だんだんと教える日本の人たちも高齢になりボランティアの人たちも少なくなっています。日本に来た働き者で頑張る若い人たちと交流して自分にもたくさんの学びがあることに気付かされます。皆さんも一緒に参加してみませんか。新しい発見がたくさんあると思います。皆さんの中で興味関心がありましたら、上記の勉強会の日に見学に来てみてください。

*2024 年人材の確保と育成を目的とする新たな制度として「**育成就労制度**」を設けるとの方針が発表されました。

粕谷和夫の観察日記



花筏（はないかだ）です。葉っぱの真ん中に直接花を咲かせる変わった木です。山地の木陰に生え、高さ 1.5 メートルの小木で、普通に見られ、特に珍しいというほどの木ではありません。雌雄異株でこの写真の花

は雄株の雄花です。雌花であれば夏に黒色の丸い実を結びます。この写真の花をよく見ると蟻が 1 匹写っています。もしかするとこの蟻が雄花の花粉を付けて別株の雌花に移動するのかもしれませんが。蟻に取っては大移動ですね。



オカタツナミソウです。日野市にある多摩動物公園の隣にある七生公園を歩いていたらこの花の群生に出会いました。丘陵地の林縁や道沿いに目立つ花の一つです。淡いブルーのこの花に出会うと涼しい気持ちになります。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。